香雪記念資料館
企画展示室１・２
《出品目録》

朝倉摂の素描 ―1950年代を中心に

2026年 9月26日(土)～11月23日(月・祝)
休館日：日曜日、11/6(金)～9(月)
※ただし、9/27(日)は開館
※都合により予定が変更になる場合があります。

章	作品名（技法、支持体、サイズ、初出展など）	制作年	点数
第１章	**朝倉家での成長と成功**		
１章－1	初期のモデル写生	1939-1943年	5点
	自画像（パステル、紙、30.6×23.2cm）	1942年頃	1点
１章－2	《沙上》（1946年、２回日展）のためのモデル写生	1946年	3点
	《バレーの踊子》（1947年、３回日展）のためのモデル写生、構図下図	1947年	8点
	肖像（朝倉響子）（パステル、紙、37.8×29.5cm）	1945年8月2日	1点
	朝倉響子をモデルとする写生、他	1945-1950年頃	4点
１章－３	修画帖	1939年頃	1点
	戦時中の動植物写生		3点
	《茶の湯》（1946年、１回日本美術及工芸交易振興展）関連スケッチ	1946年5月25日	1点
	1940年代のスケッチ	1940年代	2点
	1950年代のスケッチ		
	猫	1950年頃	1点
	鮎	1951年頃	1点
	クレオメソウ		1点
第２章	**画家としての自立**		
２章－1	1950年　北荘画廊個展「朝倉摂作品展」関連		
	題名不詳	1949年12月16日	2点
	《レスラーD君（色彩素描）》のための写生	1950年頃	4点
	自画像（顔料、紙、40.8×31.6cm、GALERIE PARIS（特別出品））	1947-1950年頃	1点
	《自画像》のための下図	1950年頃	1点
	題名不詳	1950年2月22日	1点
	《赤いフード》のためのスケッチと関連作	1950年頃	2点
	《男》（1951年、３回創造美術春季展）のための佐藤忠良スケッチ	1951年頃	2点
	《黒いネッカチーフ》（1952年、５回女流画家展）のためのスケッチ	1952年頃	1点
２章－２	新聞、雑誌挿絵などのためのスケッチ	1949-1950年代	9点
	舞台美術メモ	1950年頃	1点
	『週刊朝日』表紙下絵		1点
	雑誌『新女性』の表紙のための試作か	1950年頃	1点
	スタイル画	1950年代	2点
	絵本下絵（坪田譲治作、『三本ノ柿ノ木』）	1950年代	2点
	チェーホフ『ワ”ーニャ伯父さん』舞台衣装デザイン画	1962年	1点

第３章　社会へのまなざし―新しいリアリズムの探求

３章－1	戦後の街のスケッチ（ルポルタージュ） [豊島区役所] [男性像（刑務所にて）] [巣鴨刑務所] [仲見世] [共産党集会] [野菜市場] [街の風景 東光ストア] など	1950年代	12点
3章－２	写生旅行（工業地帯・銚子風景）	1950年代後半	6点
	工場（ルポルタージュ）		
	[ガラス工場] [縫製工場] [動物実験する研究所] [お菓子工場]など	1950年代	7点
	『週刊朝日』60巻31号通巻1867号 表紙：朝倉摂　お菓子工場	1950年7月31日	1点
	写生旅行（炭鉱・工場・銚子風景）	1950年代後半	8点
	写生旅行（炭鉱・工場）	1950年代後半	2点
	《婦人像》下絵	1955年	1点
	《女》（1954年、7回日本アンデパンダン展）関連素描	1954年頃	1点
	《おんな》（1955年、平和美術展）下絵	1955年頃	1点
	《閉ざされた部屋》 （1957年、朝倉摂・佐藤忠良・中谷泰三人展　村松画廊）関連素描、下絵	1957年頃	2点
	《部屋》（1957年、21回新制作展）関連素描	1957年頃	1点
	《求める人々》（1956年、20回新制作展）関連素描	1956年頃	1点
	《日本1958》（1958年、3回現代日本美術展）関連素描	1958年頃	2点
	《囚われ人と黒い太陽》（1959年、5回日本国際美術展）構図下絵	1959年頃	1点
	《部屋》(顔料、キャンバス、89.5×149.9㎝、21回新制作展)	1957年	1点
	《題名不詳 [倒立する人物] 》（顔料、キャンバス、53.0×41.0㎝）	1957年頃	1点
	《神話の廃虚》（顔料、キャンバス、130.×89.3㎝、6回現代日本美術展）	1964年	1点

会場マップ

